

## 平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アベルコ

コード番号 7539 URL <http://www.avelco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 阿部一成

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 永澤正博

TEL 03-3853-3391

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	11,246	0.4	71	33.1	97	27.1	6	—
23年9月期第1四半期	11,198	12.9	53	—	76	—	△13	—

(注)包括利益 24年9月期第1四半期 △7百万円 (—%) 23年9月期第1四半期 △2百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	0.64	—
23年9月期第1四半期	△1.26	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	23,395	13,009	55.6
23年9月期	22,153	13,080	59.0

(参考)自己資本 24年9月期第1四半期 13,009百万円 23年9月期 13,080百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	4.00	—	6.00	10.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,800	8.3	510	46.6	550	38.3	260	27.7	24.47
通期	47,200	9.1	590	44.1	680	34.3	320	15.7	30.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年9月期1Q	10,704,960 株	23年9月期	10,704,960 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年9月期1Q	81,164 株	23年9月期	81,164 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期1Q	10,623,796 株	23年9月期1Q	10,623,896 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による生産活動の後退局面から持ち直したものの、昨年10月には外国為替市場において、対ドルレートで一時最高値を付けた円高の高止まりに加え、欧州債務危機に端を発した信用不安の波及懸念などもあり、日本経済の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社の属する住宅業界におきましては、分譲マンションの着工戸数が大幅に回復したことにより、新設住宅着工戸数は震災後持ち直しを見せていたものの、9月以降は停滞傾向で推移いたしました。

このような環境のもと、平成24年9月期を初年度とする中期経営計画を新たに策定し、「ビジネスモデルの変革」、「働きがいと生きがいの追求」、「企業風土の醸成」、「戦略的投資の確立」を経営方針に掲げ、顧客にとって「より取引したい企業」となるよう、企業力の強化に向けた取り組みを開始しました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は112億46百万円と前年同四半期に比べ47百万円(0.4%)の増収となりました。損益面では売上高の増加や業務の効率化等による販管費の削減により、営業利益は71百万円と前年同四半期に比べ17百万円(33.1%)の増益、経常利益は97百万円と前年同四半期に比べ20百万円(27.1%)の増益となりました。また、四半期純利益は法人税等調整額の減少により、6百万円(前年同四半期は13百万円の四半期純損失)となり、20百万円の改善となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (大型物件事業)

大型物件事業につきましては、タイル工事の仕掛り現場が大幅に増加し、工事進行基準を適用していることにより、完成工事高は増加いたしました。しかしながら、仕掛り現場の大半は昨年前半に契約した低粗利物件であり、しかも震災復興需要の影響や本年3月竣工に向けた集合物件の集中によって、深刻な職人不足が発生し工賃の上昇につながったことにより、予定の売上粗利率までには至りませんでした。住宅設備工事については、ディスプレイ工事や収納家具工事の受注強化により、完成工事高は増加いたしました。収納家具工事において、震災による工期遅延と仕掛り物件が集中することで部材や外注費が高騰したため、予算を大きく上回る原価が発生しました。また、大型物件事業の売上予算のうち約2割を占める空調設備工事については、前期における官公庁物件の受注不足により完成工事高は前年を大きく下回り、それに伴い営業損益においても損失計上となりました。この結果、売上高は15億円と前年同四半期に比べ22百万円(1.5%)の減収、セグメント損失は2億円(前年同四半期は58百万円のセグメント損失)となりました。

#### (戸建住宅事業)

戸建住宅事業につきましては、営業強化と並行して施工体制の充実に注力したことにより、取り組みを強化しているサイディング工事や当社の得意とするタイル外壁工事は、大幅に完成工事高を増やしました。また、住宅設備工事については、新規顧客の開拓や、自粛ムードが落ち着いてきたことでリフォーム工物件が回復基調に転じたことにより、完成工事高は堅調に推移いたしました。この結果、売上高は97億46百万円と前年同四半期に比べ70百万円(0.7%)の増収、セグメント利益は4億69百万円と前年同四半期に比べ1億35百万円(40.5%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億41百万円増加し、233億95百万円となりました。これは主として、受取手形・完成工事未収入金等が12億63百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ13億12百万円増加し、103億85百万円となりました。これは主として、ファクタリング未払金が7億66百万円、未成工事受入金が3億14百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ71百万円減少し、130億9百万円となりました。これは主として、利益剰余金が56百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期の連結業績予想につきましては、平成23年11月11日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,012,982	4,428,447
受取手形・完成工事未収入金等	9,892,405	11,155,926
商品	392,976	424,853
未成工事支出金	978,915	1,724,939
材料貯蔵品	15,575	15,575
繰延税金資産	207,788	144,497
その他	355,347	285,552
貸倒引当金	△169,192	△167,057
流動資産合計	16,686,799	18,012,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	902,773	887,898
機械装置及び運搬具(純額)	2,758	5,212
工具、器具及び備品(純額)	62,607	64,680
土地	3,083,306	3,083,306
リース資産(純額)	31,651	29,569
建設仮勘定	—	16,782
有形固定資産合計	4,083,096	4,087,448
無形固定資産		
のれん	29,689	26,692
その他	158,547	168,793
無形固定資産合計	188,237	195,486
投資その他の資産		
投資有価証券	208,120	135,060
長期貸付金	9,891	4,687
繰延税金資産	149,749	169,341
その他	1,238,736	1,232,838
貸倒引当金	△411,053	△442,315
投資その他の資産合計	1,195,443	1,099,612
固定資産合計	5,466,777	5,382,547
資産合計	22,153,576	23,395,281

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,402,393	4,641,757
ファクタリング未払金	2,946,146	3,712,854
リース債務	8,329	8,329
未払法人税等	69,980	31,690
未成工事受入金	294,178	608,568
完成工事補償引当金	8,954	10,029
工事損失引当金	44,005	100,748
その他	624,114	594,159
流動負債合計	8,398,101	9,708,137
固定負債		
リース債務	24,710	22,628
退職給付引当金	90,739	93,166
役員退職慰労引当金	9,030	9,993
役員退職慰労未払金	45,830	45,830
その他	504,369	505,776
固定負債合計	674,679	677,394
負債合計	9,072,781	10,385,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	896,350	896,350
資本剰余金	848,923	848,923
利益剰余金	11,347,942	11,291,028
自己株式	△32,891	△32,891
株主資本合計	13,060,323	13,003,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,471	6,339
その他の包括利益累計額合計	20,471	6,339
純資産合計	13,080,795	13,009,750
負債純資産合計	22,153,576	23,395,281



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	11,198,254	11,246,058
売上原価	9,848,154	9,930,544
売上総利益	1,350,099	1,315,513
販売費及び一般管理費	1,296,600	1,244,290
営業利益	53,499	71,223
営業外収益		
受取利息	19,830	18,208
受取配当金	1,528	1,436
不動産賃貸料	4,034	5,124
その他	2,692	6,356
営業外収益合計	28,085	31,127
営業外費用		
支払利息	1,865	1,897
支払手数料	2,482	2,838
その他	417	—
営業外費用合計	4,765	4,735
経常利益	76,818	97,615
特別損失		
固定資産除却損	—	808
固定資産売却損	—	19
雇用調整支出金	—	12,611
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,126	—
特別損失合計	4,126	13,440
税金等調整前四半期純利益	72,692	84,175
法人税、住民税及び事業税	5,034	24,397
法人税等調整額	81,027	52,948
法人税等合計	86,062	77,345
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△13,369	6,829
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,369	6,829

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△13,369	6,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,372	△14,131
その他の包括利益合計	10,372	△14,131
四半期包括利益	△2,997	△7,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,997	△7,302
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,522,756	9,675,498	11,198,254	—	11,198,254
セグメント間の 内部売上高又は振替高	999	18,137	19,137	△19,137	—
計	1,523,755	9,693,635	11,217,391	△19,137	11,198,254
セグメント利益又は 損失(△)	△58,546	333,914	275,367	△221,868	53,499

(注) 1 セグメント利益の調整額221,868千円はセグメント間取引消去431千円と各報告セグメントに配分していない全社費用222,299千円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,500,020	9,746,037	11,246,058	—	11,246,058
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,312	14,204	15,517	△15,517	—
計	1,501,333	9,760,241	11,261,575	△15,517	11,246,058
セグメント利益又は 損失(△)	△200,331	469,269	268,938	△197,714	71,223

(注) 1 セグメント利益の調整額197,714千円はセグメント間取引消去477千円と各報告セグメントに配分していない全社費用197,236千円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。